

生活と社会 (Living and Society)

ゼミナール「社会科学の夢」 (Seminar: Dream of Social Sciences)

水島 多喜男・教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 前期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『社会科学ゼミナール』)

【授業の目的】社会科学を学ぶ意義を、経済学を手がかりに考える。

【授業の概要】ゼミ形式で、「社会科学」に人々が寄せる夢、「社会科学」が見る快夢と虚夢、を経済学を通じて見てゆきたい。また、研究活動とはどのようなものかについて、新聞、雑誌、ビデオを手がかりに考える。

【キーワード】社会科学, 科学方法論, 経済, 資本主義

【関連科目】『歴史と文化/中東経済入門-歴史と文化基盤-』(1.0), 『生活と社会/国際政治学入門』(0.5)

【到達目標】

1. 科学的であるとは何を意味するのか, について, これまでの様々な考え方を知る.
2. 研究にとり必要なものは何かを考える.

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. 論理思考とデータについて 1
3. 論理思考とデータについて 2
4. 論理思考とデータについて 3
5. 「経済学の基本定理」について 1
6. 「経済学の基本定理」について 2
7. 「経済学の基本定理」について 3
8. 現実と経済理論について 1
9. 現実と経済理論について 2
10. 現実と経済理論について 3
11. 様々な統計について 1
12. 様々な統計について 2
13. 日本経済の理解について 1
14. 日本経済の理解について 2
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】飯田泰之『経済学思考の技術 論理・経済理論・データを使って考える』(ダイヤモンド社, 2003 年)2000 円 (図書館に所蔵)

【参考書等】参考書等は, 適宜紹介する.

【成績評価の方法】授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する.

【再試験の有無】なし

【受講者へのメッセージ】ゼミ形式で授業を進めるので, 発表者・質問者の担当になった場合は, その時間を欠席しないようにしてください.

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220766>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 水島 (2203, 088-656-7188, mizushim@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL